

第1学年2組 英語科授業案

第6限 美術室 授業者 神谷 祐輔

1 単元名 World Wide Communication ～西尾人から「世界人」へ～

2 単元目標

- ・外国人と会話をすることで、英語でつながることに喜びを感じることができる。
- ・既習の表現を使って、質問をするだけでなく、相手からの質問にも答えたりするなど、英語でコミュニケーションをすることができる。
- ・友達同士で協力してコミュニケーション能力を高め合うことで、お互いの良さを認め合うことができる。

3 単元の構想

(1) 生徒の実態と単元について

夏休み前に行ったインタビューの単元で、生徒たちは、3名の初対面の外国人に一人ずつインタビューをした。そのときの授業日記には、「楽しかった」、「英語が通じたのがうれしかった」といった喜びの声や、「またやってみたい」、「次はもっと練習して成功させたい」といった前向きな声が多かった。

抽出生Aもそのような生徒の一人である。授業日記には、「4月にやったジュニファー(AET)へのインタビューよりもうまくできた。またやってみたい」と、次回への意欲を見せていた。

本単元では既習の表現や文法を使って、前回のインタビュー時よりも、より会話に近い英語のやりとりができることをめざす。そのために、ステップを踏んだ会話力アップのトレーニング時間を設ける。さらに、会話相手となる外国人が、急用で故郷に帰ってしまうという設定をつくることで、「スカイプ」といったグローバルなコミュニケーションツールでの会話を体験させ、世界に目を向けさせもしたい。単元を通して、「自分の英語は世界中の人たちにも通じるんだ」という喜びを実感させ、「もっと外国人と話したい」「もっといろいろな表現を知りたい」と、今後の学習への意欲につながることを期待したい。

(2) 認め合える福中生をめざして

本単元では、前単元のインタビュー時のような英語のやりとりから、より交互相通的な英語でのコミュニケーションができることを目指していく。友達同士での練習時間を取り入れ、お互いに良い点を言い合ったり、アドバイスをし合ったりすることで、それぞれのコミュニケーション能力を高め合う姿を期待したい。さらに、会話をしている自分の姿を客観的に見るために、デジタルカメラで練習の様子を記録させる。また、練習相手をローテーションしていくことで、生徒がより多くの友達から幅広いアドバイスがもらえるよう工夫もしていく。このような場を教師が設定することで、生徒が自分たちで良さや課題を発見していき、自分たちの手でコミュニケーション能力を高め合ってほしい。

抽出生Aについては、自分が発見した課題やポイントを自分だけのものにとどめておくのではなく、他の生徒にも、アドバイスとして積極的に発信するような姿を期待する。

(2) 単元構想図 (10時間完了)

入口の姿 前回のインタビューは楽しかったけど、あまり会話を続けることができなかったな。																
	生徒の学習活動と予想される意識・反応	教師の支援 ※評価 (手立て)														
つ か む	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">英会話の達人「はやと先輩、しんみつ先輩」登場</div> <p>○先輩たちがジェニファーと英会話する様子を見よう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会話が途切れることなく話している。すごいな。 ・ 2人の先輩のように、外国人と楽しく会話がしたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が目指すべき姿をより具体的にイメージできるために、先輩といった身近な人をお手本とする。 <p>※このさき行う英会話に興味をもつことができたか。(授業日記)</p>														
か か わ る	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">はやと先輩、しんみつ先輩に近づこう (2~5)</div> <p>○「一問一答」トレーニングで基礎力をアップしよう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">A: Do you like sushi?</td> <td style="padding: 2px;">A: What sport do you like?</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">B: Yes, I do. / No, I don't.</td> <td style="padding: 2px;">B: I like basketball.</td> </tr> </table> <hr/> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">A: Where are you from?</td> <td style="padding: 2px;">A: What's your favorite anime?</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">B: I'm from America.</td> <td style="padding: 2px;">B: Dragon Ball.</td> </tr> </table> <p>・ いろいろな疑問文に答えられるようになってきたぞ。</p> <p>・ 便利な表現をたくさん知ることができてよかったな。</p> <p>○相手の答えにリアクションをしてみよう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">A: Do you like sushi?</td> <td style="padding: 2px;">A: What sport do you like?</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">B: Yes, I do. How about you?</td> <td style="padding: 2px;">B: I like basketball.</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">A: I like it, too.</td> <td style="padding: 2px;">A: Really? Me, too.</td> </tr> </table> <p>・ “How about you?”を使うと会話が続く気がするな。</p> <p>・ フレーズ1つで、会話がつながるもんなんだな。</p> <p style="background-color: #e0e0e0;">○友達から良かった点やアドバイスをもらおう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ How about you?で聞き返していたのが良かったね。 ・ 「ドラゴンボールが好き」と答えたならば、「好きなキャラクターは誰?」とさらに質問すると会話っぽくなると思うな。 ・ ジェスチャーがあって、わかりやすかったよ。 ・ 自分一人では気づけないアドバイスをくれたからよかった。 ・ ビデオで見ると、意外に自分は声が小さいことがわかった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px; background-color: #e0e0e0;">ゲストとの英会話にチャレンジしよう (6~8 本時7)</div> <p>○「スカイプ」でゲストと英会話をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話すのが速すぎて、何を言っているかわからなかったな。 ・ 声が小さくて、ちょっと聞き取りにくかったな。 ・ How about you?でうまく聞き返すことができていたね。 <p>○みんなでさっきのやりとりを振り返ってみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつや自己紹介があったのはよかったと思う。 ・ 西尾のことをもっと説明できればよかったな。 ・ 「もっとゆっくり話してください。」「もっと大声で話してください。」って、英語で何て言うんだろう。知りたいな。 <p>○もう一度ゲストと英会話してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ やったあ!前回の失敗が生かされたぞ! 	A: Do you like sushi?	A: What sport do you like?	B: Yes, I do. / No, I don't.	B: I like basketball.	A: Where are you from?	A: What's your favorite anime?	B: I'm from America.	B: Dragon Ball.	A: Do you like sushi?	A: What sport do you like?	B: Yes, I do. How about you?	B: I like basketball.	A: I like it, too.	A: Really? Me, too.	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎力をしっかり定着させるために、一問一答が一覧になった「WWC シート-基礎編-」を持たせる。 ・ 繰り返し練習させるために、練習ペーパーを変えていく。 <p>※基礎力がしっかりと定着したか。(活動の様子、授業日記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リアクションの使い方に迷わないために、それらが一覧になった「WWC シート-スキル編-」を持たせる。 <p>※相手の答えに適切なリアクションができたか。(活動の様子、授業日記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が会話している姿を客観的に見るために、デジタルカメラで練習の様子を記録させる。 ・ 多くのアドバイスをもらうため、練習グループを変えていく。 <p>※友達に適切なアドバイスをし、もらったアドバイスを参考にできたか。(活動の様子、授業日記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お互いのコミュニケーション能力を高め合う話し合いをするために、他グループに、代表グループの会話の「良い点」と「課題」をメモさせる。 ・ 課題が浮き彫りになるような会話にもするために、教師が事前にゲストと打ち合わせをしておく。 <p>※課題を生かして、積極的に会話できたか。(会話の様子、授業日記)</p>
A: Do you like sushi?	A: What sport do you like?															
B: Yes, I do. / No, I don't.	B: I like basketball.															
A: Where are you from?	A: What's your favorite anime?															
B: I'm from America.	B: Dragon Ball.															
A: Do you like sushi?	A: What sport do you like?															
B: Yes, I do. How about you?	B: I like basketball.															
A: I like it, too.	A: Really? Me, too.															
深 め る	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">もっと英会話がしてみたい! (9~10)</div> <p>○オーストラリアの中学生と英会話をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲストのときよりも長く会話できた気がする。 ・ 遠く離れた子と会話できたのはうれしいな。またやりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時までに修正した自分の会話をもう一度試すために、同世代の外国人と会話をする機会を再度与える。 <p>(会話の様子、授業日記)</p>														
出口の姿 会話が長く続いたし、聞かれたことにも答えられたぞ。あと、自分の英語が遠く離れた国にいる人に通じたのはすごくうれしかった。もっとたくさんの表現を学んで、たくさんの外国人とこれからも話してみたいな。																

4 本時の学習 (7 / 10)

(1) 目標

- ・ 友達の会話の良かった点、また、そこから浮かび上がった課題をアドバイスすることができる。
- ・ 会話相手のゲストに質問をするだけでなく、ゲストの質問にも答えることができる。

(2) 話し合いを活性化させるための手立て

4人の小グループを編成して、いろいろなグループ同士と会話練習をさせることで、幅広いアドバイスに触れさせる。また、デジタルカメラで練習の様子を記録し、自分の課題をより具体的にさせることで、話し合いを深める。

(3) 本時の流れ

段階	入口の姿 練習してきたことを生かして、会話が途切れないようにがんばるぞ。	
	生徒の学習活動と予想される意識・反応	教師の支援 ※評価
5 つ か む	<p>目指すべき姿を確認しよう</p> <p>1 憧れのはやと先輩としんみつ先輩が、ジェニファーと会話している VTR をもう一度見てみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ よし、今日は2人の先輩みたいに、長く会話ができるようがんばるぞ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時で自分たちのめざすべき姿を確認するために、再度、先輩たちの勇姿を見せる。
35 か か わ る	<p>Let's do "World Wide Communication"!!</p> <p>2 グループ同士の練習をしよう。</p> <p>A: Hello. My name is ○○. B: Hi, ○○. My name is □□. A: I have some questions. Do you like sushi? B: Yes, I do. I like it very much. A: What sushi do you like? B: I like tuna. … (今のやりとりをビデオといっしょに振り返る) C: 「Aが、どの寿司のネタが好きか聞き返したのはよかった。…Bは、『マグロが好き』の後に、”How about you?” で聞き返すといいと思うな」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Cに「よかったよ」と言ってくれれば自信がつくな。 ・ Cのアドバイスは参考になった。次は使ってみよう。 <p>3 スカイプを使ってゲストと会話をしよう。</p> <p>A: Hello, Lance. Any questions OK? G: Sure. B: What Japanese food do you like? G: ×××× B: ??????</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 練習したことが通じてうれしかったな。 ・ 話すのが早すぎて、何を言っているかわからなかった。「もっとゆっくり話してください」って何て言うの? ・ 聞き取れない箇所が何か所かあった。「もう一度言ってください」っていう表現を知っていると便利だな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒がいろいろなアドバイスをもらうために、グループの組み合わせをローテーションする。 ・ より具体的なアドバイスをするため、会話をしている自分の様子を客観的に見るために、デジカメで練習中の様子を撮影させる。 <p>※友達からもらったアドバイスを生かすことができたか。また、積極的にアドバイスをしたか。 (活動の様子、シート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 良い点や課題をわかりやすくするために、会話している生徒とゲストの様子を、2台の大型スクリーンに映す。 ・ 課題が浮き彫りになるような会話にもするために、教師が事前にゲストと打ち合わせをしておく。 <p>※他グループの課題を、自分たちの課題ともとらえることができたか。(話し合いの様子、授業日記)</p>
10 深 め る	<p>4 授業日記を書く。</p> <p>○今日の授業の収穫と、新たな課題を書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ How about you?は会話をつなぐのに有効だと実感した。 ・ まだまだ知っておくと便利な表現がたくさんあるな。 	<p>※今日の授業を通して、自分なりに次の新たな課題を発見できたか。 (授業日記)</p>
	<p>出口の姿 少しは会話が途切れずにできたからすごくうれしかった。でも、まだまだ知らないことがたくさんあるな。次に会話する時は、今日の課題を生かしてがんばるぞ。</p>	